

第5号議案

道路改築事業 国道254号 ^{かんらよし}甘楽吉井バイパス
高崎市吉井町～甘楽町

着工年度

平成12年度

評価理由

10年継続

1. 事業の目的

- ・本バイパスは、7つの交通軸のうち西毛軸に位置づけ整備を行っている。
- ・高崎市吉井町から甘楽町市街地における交通安全の確保及び交通混雑の解消を図る。
- ・現道の交通量は13,610台/12h(H17センサス)、混雑時の旅行速度は28.9km/h。
- ・バイパスは暫定2車線で整備し、幅員3.0mの片側歩道を設置する。



2. 事業概要と進捗状況

事業概要

事業場所	たかさきよしまいちほんごう かんらくんかんらまち ふくしま 高崎市吉井町本郷～甘楽郡甘楽町大字福島	
区分	今回	事業当初
全体事業費	5,200百万円	5,200百万円
全体事業費増減の理由		
事業期間	H12～H26	H12～H26
事業内容	道路延長 3,200m 幅員 13.0(25.0)m [暫定2車線 6.5(12.0)m 整備中]	道路延長 3,200m 幅員 13.0(25.0)m [暫定2車線 6.5(12.0)m 整備中]

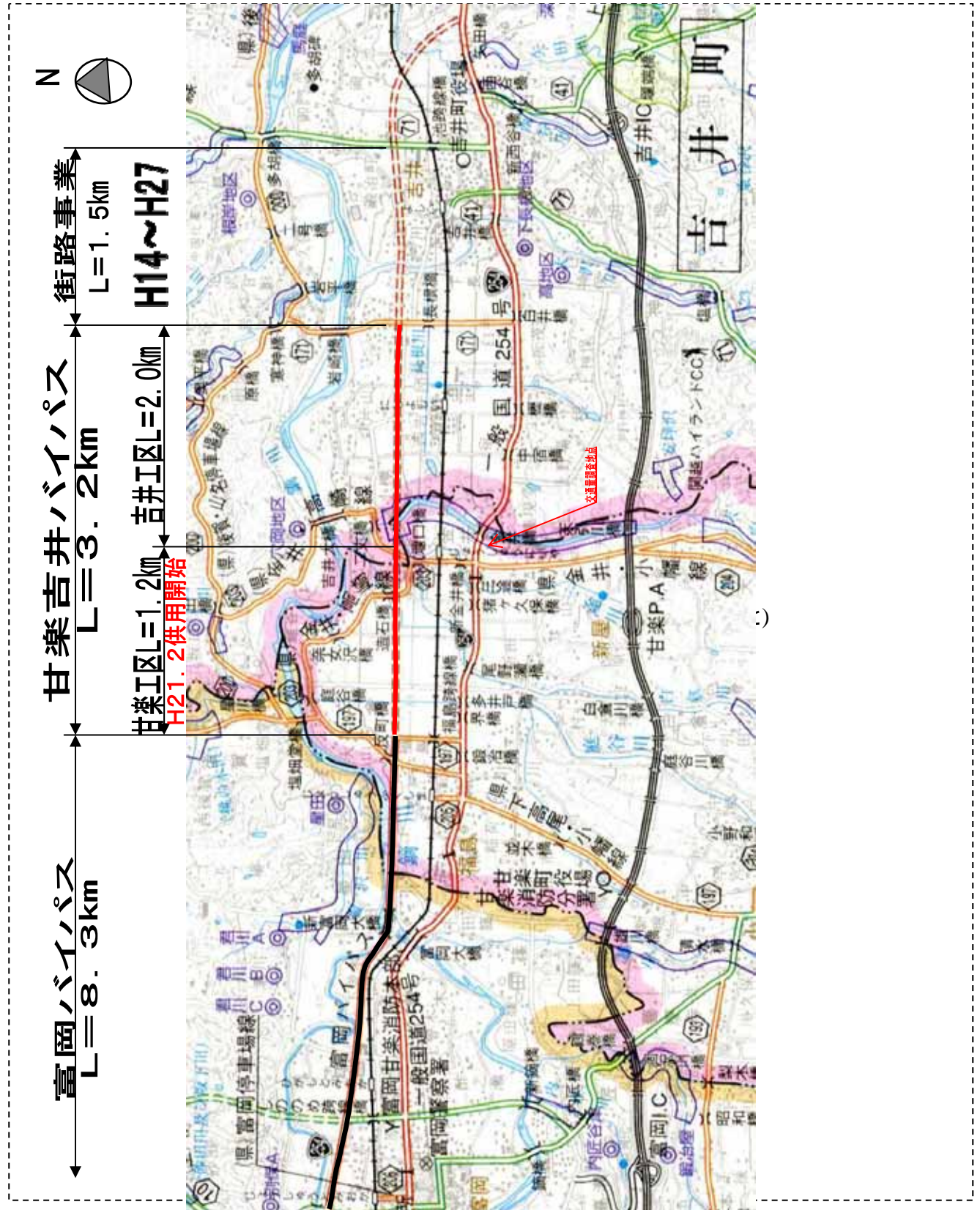
事業経緯

年度	主な経緯
H13	用地買収着手
H18	工事着工 (甘楽工区)
H20	甘楽工区完了 (H21.2.21開通) 吉井工区工事着手

進捗状況

	全体計画	現在の進捗状況 (進捗率)
事業費	5,200百万円	3,522百万円 (67.7%)
用地買収	69,426m ²	54,426m ² (78.4%)
計画延長	3,200m	1,200m (37.5%)

2. 事業概要と進捗状況(図面・写真等)



3. 事業の目的・必要性に変化はあるのか？

交通量は依然として増加傾向にある。また、混雑時の旅行速度も低下しているため依然として課題は残されており、早期に事業の完成を図る必要がある。

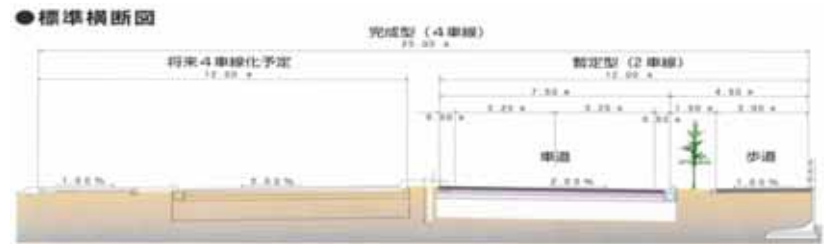
交通量調査	交通量(台/12h)				合計	混雑時旅行速度(km/h)
	自動車	バス	小型貨物車	普通貨物車		
H11	7,874	43	2,972	2,369	13,258	30.5
H17	8,384	15	3,660	1,551	<u>13,610</u>	<u>28.9</u>

観測地点 甘楽町金井556-1

交通量は増加・旅行速度は低下

4. 目的を達成するための事業(手段)は適当か？

- ・本事業は現道対策の代替道路である。また、甘楽吉井バイパスの接続工区は街路事業で事業着手済みである。
- ・平成21年2月に甘楽工区L=1,200mが供用開始となり、平成11年までに完成している富岡バイパスを含め延長L=9.5kmが完成した。



費用便益分析

		計画・前回再評価時		今回再評価時		備考	便益説明
算出根拠マニュアル		平成11年2月		平成20年11月			
基準年		H12		H21			
区分	項目	現在価値	構成比	現在価値	構成比		
費用 (千円)	工事費	4,825,000		6,172,000			
	維持管理費	556,000		285,000			
費用合計(C)		5,381,000		6,457,000			
便益 (千円)	走行時間短縮便益	19,196,000		15,716,000			
	走行費用減少便益	-977,000		943,000			
	交通事故減少便益	-89,000		2,550,000			
便益合計(B)		18,130,000		19,209,000			
費用対効果分析(B/C)		3.37		2.97			

5. 事業が長期間要している理由は？

〔 元々が長期計画 不測の事態により長期化 〕

- ・事業延長がL = 3.2kmと事業規模が大きいため、工区を分けて計画的に事業を進めてきたところであり、昨年度に甘楽工区L = 1.2kmの供用を図った。
- ・引き続き吉井工区も工事着手しているところであり、長期計画となっている。

甘楽工区L = 1.2 km 事業スケジュール(実績)

●事業の経緯



●事業費の推移

(百万円)

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	合計
甘楽工区	22	225	56	194	122	200	350	543	138	1,850
吉井工区	25	150	44	197	127	50	70	242	767	1,672
計	47	375	100	391	249	250	420	785	905	3,522

H21.2
開通

6. 事業の対応方針は？

事業継続

事業中止

変更なし ・ 事業計画の変更 ・ スケジュールの変更

- ・早期に事業効果を発現するため、暫定2車線整備で事業を実施している。
- ・町道を起業地内に取り込むことによって、用地買収費を縮減している。
- ・吉井工区も引き続き事業を進捗させ早期全線供用を図りたい。